

太良

議会だより

6ページから11ページの
二次元バーコードを
スマートフォンで
読みこんでください。



令和7年度一般会計予算

93億2,874万4千円

もくじ

12月定例会

- 新年のご挨拶 2P
- 12月定例会 議案審議 Q&A 3~5P
- 一般質問 6~11P
- 調査報告等 12~13P
- 議会の主な活動 14P

発行／太良町議会 編集／議会広報編集特別委員会
〒849-1698 佐賀県藤津郡太良町大字多良1番地6
TEL 0954-67-2151

<https://www.town.tara.lg.jp/>

議会の情報がインターネットで見られます。
太良町役場のホームページにアクセスし、議会情報をクリックしてください。



太良町議会の
ホームページ

No.179

令和8(2026)年2月1日発行
初版発行／昭和56年8月1日

【太良嶽神社 山茶花 花言葉「困難に打ち勝つ」】



あけましておめでとうございます



新年のご挨拶

健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
平素より町議会活動への温かいご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

令和8年1月吉日 太良町議会

太良町議会の役割とは

■ 議会の本分は「決める」こと

議会の役割を一言で表すならば、それは町の未来に関わる事を決めることです。
皆さまの付託を受けた議員として、町の予算や条例を審議し、議決する。
これは地方自治法に定められた重い使命であり、その決定には議会として重い責任を負います。

私たち議員は、この「決断」のために日々を費やしています。現場を歩いて皆さまの声を聞き、委員会や一般質問で課題を徹底的に掘り下げる。こうした積み重ねこそが、より良い判断を支える基盤となります。

また、議会の責任は議決で終わりではありません。決定した施策が皆さまの暮らしに届くまで、そのプロセスを注視し続けることも、欠かせない役割です。

■ 現場主義で、多様な声を「形」にする

太良町には、豊かな山と海の暮らしがあり、55の行政区それぞれに異なる事情があります。立場が違えば、一つの施策への期待も懸念も異なります。

だからこそ議会は、多様な意見を尊重し、議論を尽くした上で、最後は町の最善のために「決め切る場」でありたいと考えています。

まもなく3月定例会を迎えます。皆さまから託された大切な税金が最も効果的に使われるよう、一つひとつの事業を精査し、責任をもって議決してまいります。

本年も現場主義を貫き、町の未来に責任を持つ議会として取り組んでまいります。皆さまの声をお聞かせください。

12月定例会

会期 12月5日～12日(8日間)

令和7年度 一般会計の補正予算(第6号) 総額 1億3,023万3千円

補正後予算総額 93億2,874万4千円

歳出	道路橋梁等災害復旧事業(補助・現年災) (8月豪雨により被災した町道亀崎・破瀬ノ浦線及び流矢川)	4,250万円
	人件費補正(佐賀県人事委員会勧告に伴うもの)	3,658万円
	施設型給付費負担金(認定こども園などの財政支援で公定価格の改定や増加が見込まれるため)	3,349万円
	障がい者自立支援給付費(利用件数の増加に伴うもの)	1,600万円
	農地等災害復旧事業(補助・現年災) (8月豪雨により被災した農地1箇所及び農業用水路1箇所)	738万円
	戸籍総合システム改修委託料(民法改正に伴うシステム改修)	246万円
	林道災害復旧事業(補助・現年災)	234万円
	地域活性化拠点施設用備品(旧タララボを地域活性化拠点として利用するためのテーブル・ベンチ等備品)	194万円
	移住定住促進事業補助金(町内への移住や定住促進を図るために経済支援)	180万円
	林道災害復旧事業(単独・現年災) (8月豪雨により被災した林道角ノ内線及び管理道喰場線)	169万円
	道路橋梁等災害復旧事業(補助・過年災) (8月豪雨により増破し、現年災とまとめて復旧するため減額)	△1,629万円
	配送コントロール業務委託料 (ふるさと応援寄付金事業支援業務の業者委託に伴い減額)	△2,420万円

※金額について万円未満を切り捨てています。

一般会計補正予算

Q

A

Q ふるさと納税の「配送コントロール業務委託料」が大きく減額されていますが、理由は？

A ふるさと納税事業の運営を中間事業者に一括委託したことで、町が行っていた配送管理業務が不要になったためです。この減額によって、別の費用が新たに発生することはありません。

Q ガザミ（竹崎カニ）蓄養施設の撤去費用が計上されていますが、今後はどうなりますか？

A 老朽化した既存施設を撤去するための補助です。一方で、竹崎カニは町の重要な資源であるため、今後は漁協や関係者から具体的な計画や要望が示されれば、対応を検討していく。

Q 簡易水道の配管更新は、今後どう進みますか？

A 喰場、里、蕪田地区を中心に配管の更新を進めており、令和9～10年度ごろの完了を目指しています。併せて、配管図面のデータ化や、衛星技術を活用した漏水調査の導入についても検討しています。

12月定例会審議結果

12月定例会は、条例議案9件、事件議案9件、補正予算6件及び人事案件1件が町長より提案されました。審議結果は次のとおりです。

全会一致の議案等		
議案番号	件名と主な内容（件名及び内容は一部省略しています）	議決結果
第65号	太良町人権が尊重される社会づくり推進条例の制定 あらゆる人権に対する問題の解消を図り、人権が尊重される社会づくりのため。	可決
第66号	太良町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定 子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律の施行に伴い、乳児等通園支援事業に係る設備及び運営に関する基準を定めるため。	可決
第67号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定 佐賀県人事委員会勧告に基づき職員の給与改定を行うための条例の一部改正	可決
第68号	町長等の諸給与条例の一部を改正する条例の制定 佐賀県人事委員会勧告に基づき特別職の期末手当の支給率の改定を行うための条例の一部改正	可決
第69号	太良町議会議員の議員報酬及び費用弁償等支給条例の一部を改正する条例の制定 佐賀県人事委員会勧告に基づき議員の期末手当の支給率の改定を行うための条例の一部改正	可決
第70号	太良町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定 佐賀県人事委員会勧告に基づき職員の給与改定を行うための条例の一部改正	可決
第71号	太良町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定 児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴い、保育所等の職員による虐待に関する通報義務等が創設されたため条例の一部改正	可決
第72号	太良町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定 児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴い、保育所等の職員による虐待に関する通報義務等が創設されたため条例の一部改正	可決
第73号	太良町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定 児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴い、保育所等の職員による虐待に関する通報義務等が創設されたため条例の一部改正	可決
第74号	竹崎城址展望台公園の指定管理者の指定 ・団体 森川造園 ・期間 令和8年4月から令和11年3月まで（3年）	可決
第75号	太良町特産品等展示販売飲食施設「たらふく館」及び「たらふく館別館」の指定管理者の指定 ・団体 NPO法人たらふく館 ・期間 令和8年4月から令和11年3月まで（3年）	可決
第76号	太良町観光案内所の指定管理者の指定 ・団体 太良町観光協会 ・期間 令和8年4月から令和11年3月まで（3年）	可決
第77号	太良町農村公園（あいあい公園）の指定管理者の指定 ・団体 大川内区 ・期間 令和8年4月から令和11年3月まで（3年）	可決

議案番号	件名と主な内容（件名及び内容は一部省略しています）	議決結果
第78号	太良町活性化センター（ゆたたり館）の指定管理者の指定 ・団体 NPO法人たらふく館 ・期間 令和8年4月から令和11年3月まで（3年）	可決
第79号	太良町健康の森公園の指定管理者の指定 ・団体 太良町森林組合 ・期間 令和8年4月から令和11年3月まで（3年）	可決
第80号	太良町営火葬場の指定管理者の指定 ・団体 有限会社 太良クリーンセンター ・期間 令和8年4月から令和13年3月まで（5年）	可決
第81号	太良町総合福祉センターの指定管理者の指定 ・団体 社会福祉法人 太良町社会福祉協議会 ・期間 令和8年4月から令和13年3月まで（5年）	可決
第82号	太良町過疎地域持続的発展計画 令和3年12月に策定した現行計画が令和7年度をもって終了することに伴い、新たに過疎地域持続的発展計画を定めるもの。	可決
第83号	令和7年度太良町一般会計補正予算（第6号） 道路橋梁等災害復旧事業費等1億3,023万3千円を増額補正し、補正後の予算総額93億2,874万4千円とするもの。	可決
第84号	令和7年度太良町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 子ども・子育て支援金創設に伴うシステム改修委託料291万1千円を増額補正し、補正後の予算総額1億7,884万6千円とするもの。	可決
第85号	令和7年度太良町国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 職員給与費等の補正	可決
第86号	令和7年度太良町漁業集落排水事業会計補正予算（第3号） 職員給与費等の補正	可決
第87号	令和7年度太良町簡易水道事業会計補正予算（第3号） 施設の経年劣化に伴う管路等の修繕費等の補正（予備費で調整）によるもの。予算総額1億7,990万4千円。	可決
第88号	令和7年度水道事業会計補正予算（第3号） 施設の経年劣化に伴う管路等の修繕費等の補正（予備費で調整）によるもの。予算総額6,691万円。	可決
第89号	教育委員会教育長の任命 岡 陽子 教育長（再任） ・任期 令和7年12月24日から令和10年12月23日まで（3年）	同意

一般質問

地区が判断に迷った時、町はどう関わっていくか

山口 一生 議員

1分動画へGO▼

答 民芸保存会で事例を共有し、文化振興係が相談対応を行っていく



議員 人口減少期において、文化継承を町はどのように支える方針であるか。

町長 文化継承の在り方は各地区が主体的に判断し、町は情報提供、活動助成および衣装用具助成を継続する方針。

議員 町内で浮立等は現在どれくらい行われているか。

社会教育課長 町内16の行政地区で実施されている。

議員 民芸保存会とは、どのような組織であるか。

社会教育課長 町内各地区の代表で構成され、民芸保存事業を行った団体等への補助金交付を行っている。

議員 地区として、どのような選択肢が可能であると整理されたか。

町長 「続ける・見直す・縮小・一時休止」などの選択肢が示され、地区が主体的に判

断していくことを町として支援していく。

議員 判断に迷う地区に対し、相談先や伴走の体制はどうなっているか。

社会教育課長 他地区の事例は民芸保存会の会議で共有し、個別の相談は民芸保存会事務局（社会教育課・文化振興係）が対応する。

議員 地区が判断しやすくするための情報整備は可能であるか。

社会教育課長 各地区への聞き取りやアンケート等による情報整備は可能であり、必要な情報の内容は民芸保存会で検討していく。

議員 子ども世代や担い手育成に向けた取り組みはあるか。

社会教育課長 歴史民俗資料館で「太良の浮立企画展」を検討しており、担い手となるボランティア養成についても民

芸保存会で検討していく。

議員 企画展の内容は、どのようなものを想定しているか。

社会教育課長 各地区で異なる衣装や面の展示に加え、踊りを映像で紹介する構成を想定している。

議員 行政として、横断的に現状把握を行う新たな仕組みを設ける考えはあるか。

町長 民芸保存会以外に、新たな横断的な仕組みを設ける考えは、現時点ではない。

議員 文化振興係は、今後どのような役割を担うか。

教育長 地区の主体性を尊重しながら、相談を通じて課題を把握し、今後の支援の在り方を検討していく役割を担う。

議員 働き盛り世代（PTA・消防団・祭り等）の負担について、町はどのように把握しているか。

社会教育課長 具体的なアンケート調査は行っていないが、仕事・地域活動・育児・介護等の負担が働き盛り世代に集中していることは認識している。ただし、地域活動は多様で個人差が大きく、正確な把握は難しいところがある。

議員 浮立等の披露の場を増やす考えはあるか。

社会教育課長 参加者のモチベーション向上につながるなどの認識が示されており、文化祭での披露について、文化連盟や出演団体と協議の上で検討していく。

◀ 古賀地区の浮立



一般質問

病児、病後児保育の充実を

待永 るい子 議員

1分動画へGO▼



答 財政的な問題で広域で実施



議員 病児・病後児保育の課題について。

町長 利用実績が少ない保護者の周知が行き届いていない等。

議員 今後の周知方法は。

子育て支援課長 ライン・インスタグラム・町報・SNSなどを活用。

議員 現在の病児病後児の施設は嬉野市などで利用しづらいのではないか。

子育て支援課長 嬉野市までの距離が妨げになっているとは思いますが、嬉野市の人の利用状況からみると近いから利用者が多い訳でもないと考える。

議員 太良病院に病児病後児保育の施設を併設できないのか。

病院事務長 場所と人材の確保が難しい状況。

議員 町内の人で現実に困っている人への対応は。

町長 財政的な問題で、町内に施設を作るのは難しい。広

域での実施に変わりないが、何かあれば役場に相談してほしい。

空き家対策

議員 空き家が増える事で考えられるリスクは。

町長 老朽化や倒産のリスク、景観の悪化、防災防犯機能の低下、ゴミ問題など。

議員 空き家は増えているのに、空き家バンク登録者が増えない理由についてどう考えるか。

企画政策課長 家に仏壇がある、盆や正月の帰省の時利用する。将来生まれ育った場所に帰ってくるかもしれない等々。

議員 おためし移住の為に空き家利用は。

企画政策課長 移住者を獲得する為の効果的なツールと考えるが、空き家バンク登録数が少ないので住まい自体が不足の状態。

議員 農繁期で町外・県外からの宿泊施設としてシェアハウスという形で利用できないか。

企画政策課長 農繁期の雇用の為の宿泊施設としては自然休養村管理センターを利用できないか担当課と調整している。

議員 改めて空き家の利活用推進については。

企画政策課長 空き家活用、民間活力を活用して取り組みたい。

スポーツ合宿

議員 国はスポーツ合宿を推奨しているが、太良町の取り組みは。

町長 多種団体に安価で宿泊できる施設としてPRを行いたい。

議員 課題については。

町長 グラウンド以外の施設に関しては、老朽化による快適性の低下や設備の整備が必要である。

議員 現在合宿しているスポーツの種類は。

社会教育課長 ソフトボール・野球・剣道・ソフトテニス・バレーボール。

議員 年間を通しての利用があっているのか。

社会教育課長 5月から10月が中心で年間を通じては難しい。

議員 冬場農繁期の雇用者の宿泊施設としての利用は可能か。

社会教育課長 空き家バンクの担当課からの答弁の通り現在検討中である。

議員 雇用者でなくても泊まれる可能性はあるか。

社会教育課長 研修施設なので、一般の人の外泊はできないきまりである。

◀ 女子ソフトボール大会の様子



学校再編はどうなる

田川 浩 議員

1分動画へ
GO▼



答 小学校は2校のまま、
中学校は統合へ

一般質問

学校再編について

議員 少子化による児童・生徒数減少から町立小・中学校のありかたを太良町教育環境整備検討委員会で協議されてきた。どのような内容だったか。

教育長 生徒や保護者、地域の方々にアンケート調査を実施し、その調査結果を踏まえながら、幅広い視点から学校の適正規模や部活動の在り方、豊かな学びや体験の確保に関することなど、学校再編の有無も含めて少子化時代の学校教育の在り方について協議してきた。

議員 アンケートの主な内容とその結果は。

学校教育課長 今後の小・中学校の在り方としてどのような形態がいいかと質問。小学校は、約50%が多良小学校と大浦小学校の2校の現行のままよいと回答。中学校は、約64%が統合や小中一貫校などの何らかの対応が必要との回答だった。

議員 検討委員会で協議の結果、学校再編の方向性はどうか。

教育長 現在ある多良小学校と大浦小学校は各地域の拠点として重要な役割を果たしており、地域と連携したきめ細やかな教育を充実させるためにも、2校を現状のまま残すことが望ましいという方向でまとまった。また、中学校は、学習や部活動などにおいて切磋琢磨する機会を確保するとともに、多様な人間関係の中で力強く生きる力を育むためにも、多良中学校と大浦中学校を統合して1校とすることが望ましいという方向でまとまった。

議員 今後、町長部局とはどういう話し合いが行われるのか。

学校教育課長 先月末に開催された太良町総合教育会議で協議をし、関係各課と連携を図りながら学校再編を進めることで調整ができた。

議員 中学校の統合に向けこれからどのような対応がなされるのか。

教育長 再編整備をどのように進めていくかという新たな検討委員会を設けて、その中で設置場所や施設、設備、再編時期など必要事項について議論を深め、中学校の再編が早期に実現できるように、具体的な学校再編案を提示していきたい。

大浦中学校校舎



多良中学校校舎



詐欺被害について

議員 最近も電話やメール、またSNSによる詐欺被害が起きている。最近の詐欺の手口としてどのようなものがあるか。

町長 フィッシング詐欺、架空請求詐欺、投資勧誘詐欺、ロマンス詐欺などがSNSを介して広がっている。

議員 県内の被害額は20億円を超え、昨年の2倍以上だ。毎日660万円だまし取られている計算になる。どういった自衛方法が必要か。

総務課長 詐欺手口の知識を持つ、個人情報や軽々に教えない、電話やメールで金銭要求があった場合は、慌てずに冷静になる。不自然な投資話、楽してもらうという話は大体怪しいと思うてもらいたい。

一般質問

台湾との交流事業はどうなってる!?

大鋸 美里 議員

1分動画へGO▼

答 地域活性化、交流人口の増加も目指す!



議員 台湾との交流事業の目的は何か。

商工観光課長 台湾の若手デザインチームと協働し、太良町が抱える課題について新たな視点で考え、地域活性化につなげることに。

議員 交流のきっかけは何か。

商工観光課長 台湾・太麻里郷に「多良駅」と同じ漢字の駅名があったことが縁となり、交流が始まった。

議員 今回の交流事業の内容はどのようなものか。

商工観光課長 台湾のデザイナー4名が約2か月間町に滞在し、観光ポスターや商品パッケージの提案、町民参加型のワークショップなどを行う。

議員 事業にかかる費用はどのくらいか。

商工観光課長 観光協会の観光客誘客事業の予算内（約60万円）で実施する。空き家バン

クを活用し、家賃や光熱水費はデザインチーム側が負担する。

議員 町民はどのように関われるのか。

商工観光課長 子どもから高齢者、事業者まで、ワークショップやオンライン交流などを通して幅広く参加できる。

議員 今後の展開は。

商工観光課長 太良町の自然や食の魅力を国内外へ発信し、交流人口の増加につなげたいと考えている。

インフルエンザワクチンの情報提供はどうなってる!?

議員 海外ではワクチンの中身を見直す動きがある。チメロサルについて町はどのように対応しているのか。

健康増進課長 チメロサル（有機水銀化合物）はワクチンに使われる防腐剤である。国の承認を受けたワクチンであるため、特段の情報提供は行っていない。

議員 チメロサルフリーのワクチンは町内で接種できるのか。

健康増進課長 町内では原則取り扱いはないが、町立太良病院で少人数に限り対応できる場合がある。供給量が少ないため、事前の問い合わせが必要。

議員 接種費用はどうなっているのか。

健康増進課長 65歳以上は自己負担1,300円、高校生以下と保護者は助成後で約3,000円。チメロサルフリーは数百円高くなる。

議員 経鼻ワクチンフルミストの注意点は何か。また費用は。

健康増進課長 生ワクチンのため、接種後1〜2週間は乳児や免疫力が低い方との接触を控える配慮が必要である。2歳以上19歳未満は、助成後自己負担7,000円となる。

議員 集団接種から個別接種になった流れは。

健康増進課長 1957年の「アジアかぜ」の流行を受け、1962年から小・中・高校生を対象に学校での集団接種が始まった。接種後反応への対応や制度見直しにより、1994年に集団接種は廃止され、現在は医療機関での個別接種となっている。

議員 個別接種になった背景に、前橋レポートがある。7歳児童が接種後、痙攣し障害を負ったのをきっかけに、前橋医師会が行った7万人の大規模調査である。結果、集団接種の有無で流行状況に差がないことを示した。制度の背景を知ること情報として重要である。



一般質問

ゴミを減らすための町の取り組みは

森田 政則 議員

1分動画へGO▼



答 学校教育においては環境学習を推進している



議員 どのようなグループが町内で清掃活動をされているのか。

町長 漁業関連の組織や商工会の部会、学校PTA組織、地区の子供クラブ、社会福祉協議会のボランティア団体等である。

議員 それぞれのグループの活動頻度やこれまでの活動による具体的な成果や実績はどのようなものがあるのか。

環境水道課長 漁業関連の組織においては年7回程度海岸清掃が行われ、学校PTA組織では年1回程度、その他のボランティアグループについては年1回から数回活動をされている。

議員 これらのグループ同士の連携はどのように行われているのか、また町としてのサポート体制はあるのか。

町民福祉課長 町内のボランティアグループについては太良町社会福祉協議会が事務局となつて連携が行われている。またこの組織については町による直接的なサポートはしていない。

議員 ゴミを減らすための町の取り組みとして、これらの啓発や看板設置によって、不法投棄件数はどのように変化しているか、また、直近数年の推移を伺いたい。

環境水道課長 過去3年間の実績では令和4年度は14件、令和5年度は8件、令和6年度は13件となっている。

議員 学校教育での環境学習が家庭や地域のごみの減量にもつながるような仕組みは検討されているのか。

環境水道課長 今年度、新たに太良町内の小学生を対象に、サントリグループより講師を招き、ペットボトルリサイクル授業を行っている。そこで子供達が学んだことを家庭に持ち帰り、家族で話し合う機会を作る事で、学校から家庭へと環境意識を広げる取り組みになればと考えている。

特定健診について

議員 直近3年間の特定健診の受診状況はどうなっているか、また受診率アップに向け

た町の取り組みはどうされているのか。

町長 令和4年度43・9%、令和5年度48%、令和6年度49・5%となっている。また、受診率アップに向けた町の取り組みは、対象者への受診勧奨や検診を受けやすい環境づくりに努めている。

議員 移動が困難な高齢者への対応はどうされているのか。

健康増進課長 会場を、しおさい館、大浦公民館で実施しているため、コミュニティバスの利用をお願いしている。

議員 町として改善したい疾患はあるか。

健康増進課長 成人病、特に肥満、高血圧症及び重症化するおそれのある糖尿病の予防である。

議員 若い世代、特に40歳から50歳代への受診促進策は検討しているか。

健康増進課長 就業されている世代であり、集団健診の休日

実施により受診しやすい体制づくりに努めている。

議員 太良町は受診費用が無料にもかかわらず受診されない方への受診勧奨策はどうしているか。

健康増進課長 未受診者対策事業として勧奨通知を送付している。

議員 私もここ数年肥満気味であるが、ほぼ毎年、町の特定健診を受けさせてもらっているし、これからも受診するつもりである。

◀ ボランティア海岸清掃の様子



一般質問

農業の物理的基盤を整えることを
政策の中心に位置づける考えはあるか

峰 正雄 議員

1分動画へ
GO▼答 農地整備や作業道路の
施設整備は重要である

議員 農業の物理的基盤を整えることを今後の農業政策の中心に位置づける考えはあるか。

町長 農地基盤整備事業や農道の原材料支給に取り組んでいる。安定的かつ効率的な農業や農業経営ができるよう、農業従事者の支援や町単独事業を継続していきたい。

議員 農地基盤整備事業や農道の原材料支給の状況はどうなのか。

建設課長 畑整備で7件、整備面積2・9ヘクタール、補助金額1,021万円、畦畔整備11件、補助金額389万7千円、また水路補修に生コンクリートU型側溝、ビニール管等の原材料の支給総額211万5千円。

議員 農業従事者の支援はどうなっているか。

建設課長 有害鳥獣被害対策として、ワイヤーメッシュや電気柵の設置者に対して補助をし農作物被害軽減に取り組んでいる。

議員 平成23年度からの町単独事業を継続していくとあるが事業内容は。

建設課長 農業を営む者で2人以上の団体や個人に補助をする事業である。畑整備事業を行う者に10アール当たり50万円の80%以内を補助、また、水田畦畔整備事業を行う者に1メートル当たり5千円の80%以内補助を行っている。

議員 農業に挑戦しやすい基盤を整える政策へ転換する考えはないか。

町長 JAと行政と経営者、各個人を含めて今後の農業経営をどうしていくか協議し議論する場は必要だと考える。太良町の農業に対して魅力を感じてもらえる取り組みは行政としてしっかりやっていく。

議員 新規就農者は何名おられるのか。

農林水産課長 令和6年度末で累計で31名で、うち夫婦の方が6組。

議員 何を作っておられるのか。

農林水産課長 ミカンが8名、タマネギが7名、イチゴが3名、アスパラガスが3名、その他ブドウ、柿、ブルーベリー、和牛肥育が各1名ずつおられる。

議員 親元就農者は何名か、また何を作っているのか。

農林水産課長 ミカン13名、イチゴが5名、養鶏の飼育事業で2名となっている。

議員 研修生の呼び込みは現在何名行い何名の応募があったのか。

農林水産課長 令和7年度から設立されたいちごミニトレニングファームの研修生の募集人数は現在2名研修を受けておられる。来年度においても2名程度の募集を行う。

議員 都市部で開催された新農業人フェア、農家の移住相談で何名来られたのか。

農林水産課長 大阪での就農相談会では佐賀県から3つのブースが出展され、杵島藤津地区のブースで受付をさせていただき13名の就農相談があった。

議員 13名の方は太良町に関係のある方か。

農林水産課長 大阪での就農の相談会だったので主に関西圏の方である。

議員 他県から太良町で農業をやるといった相談があった場合農地の確保はどうするのか。

農林水産課長 農業委員会での就農につきたい方の作りたい作物、規模経営形態等をお聞きして希望に寄り添った農地を県や関係団体と協議しながら、移住希望者に寄り添いながら検討している。

町長 東京のふるさと回帰センターに出向き太良町の農業政策について基盤整備事業の問題後継者の支援の問題親元就農など話をして佐賀県で太良町が一番災害の少ない町である。太良町にお見えいただく方については行政としていろいろな手助けをやっていくよう考えている。

経済建設常任委員会 堆肥の利活用と資源循環について調査

テーマ 堆肥の処理と利活用

調査日 令和7年11月14日

調査先 町内畜産農家(牛・豚・鶏)

◆現状と課題

町内の畜産農家では、家畜ふん尿を堆肥化し、農地へ供給する取り組みが行われています。一方で、人手不足や設備投資の負担が大きく、十分な堆肥化が難しい状況が見られました。また、堆肥の需要は季節による変動が大きく、年間を通した安定的な販売が課題となっています。

遠方への輸送は採算が合わず、流通面での制約も指摘されました。

◆委員会の所見

町内で発生する家畜ふん尿を町内農業で活用する仕組みを整えることは、資源循環の観点から重要です。

成分分析や製造工程の明確化、認証制度の活用により、堆肥の品質を「見える化」することで、農家の不安軽減につながると考えます。

化学肥料価格が高騰する中、町内堆肥の活用は農業経営の安定にも寄与する可能性があります。

◆結論

畜産業では、ふん尿の処理能力が飼養規模を左右する現状があります。

町内での資源循環が確立されれば、畜産業・農業の双方にとって持続可能な環境づくりにつながります。

今後も関係機関と連携し、堆肥利活用の可能性について調査・検討を進めていく必要があります。



総務常任委員会 中学校の統合と小中一貫教育の取り組みを視察

訪問日 令和7年11月6日・7日

訪問先 熊本県長洲町、宮崎県新富町

◆視察の概要

本町での少子化が進行する中で、学校再編を先進的に取り組んでいる両町において視察を行いました。

長洲町では、生徒数の減少により学校・学級の小規模化が進み、教育環境などが課題となり、これに対応するため、中学校の統合を導入。

また、新富町では児童生徒数の減少が地域の活力に影響を与えると危惧され、学校と家庭、地域社会が一体となった小中一貫教育を導入されていました。

◆委員会の所見

長洲町では、中学校統合により、学習指導の充実や協調性等の社会性の獲得が強まる効果がみられていました。

また、新富町では、小中一貫教育を導入することにより、児童生徒同士の交流促進などの効果がみられ、学びのつながりを重視した教育体制が整えられており、両町ともに参考となる事例でした。

一方、通学距離の増加や児童生徒への配慮、学校行事や地域活動への影響については、引き続き検討が必要であると感じました。

◆まとめ

少子化による児童生徒数の減少の課題解決は避けられないことであり、学校の統合や小中一貫教育は有効な選択肢の一つです。

今後、子どもたちの学びと地域とのつながりを大切にしながら、町民の意見を幅広く聴き教育環境整備の具体的内容について、検討を進めていく必要があります。



佐賀県町議会広報研修会報告

と き 令和7年11月5日

演 題 「戦略的広報と議会報づくりの型」

講 師 広報アドバイザー 金井 茂樹 氏

令和7年11月5日、「戦略的広報と議会報づくりの型」をテーマに、議会だより委員会のメンバーで研修に参加しました。当日は、広報アドバイザーの金井茂樹氏による講演が行われ、議会だよりづくりの基本的な考え方や、他自治体の先進的な事例について学びました。

研修では、「誰に、何を伝えたいのか」を意識した構成の考え方や、読み手の目線に立った見出し・レイアウトの工夫など、実践的なポイントを数多く教えていただきました。また、太良町議会だよりの誌面をもとに、改善点や工夫できる点について、具体的なアドバイスもいただきました。

今回の議会だよりには、研修で得た助言を一部取り入れています。これまで以上に町民の皆さまに興味を持って読んでいただける議会だよりを目指し、今後も内容や伝え方の工夫を重ねていきます。また、議会だよりを「読んでもらう」だけでなく、町民の皆さまとの双方向のやりとりをもっと増やしていくことも大切だと考えています。ご意見・ご感想などお気軽にお寄せください。



第69回町村議会議長全国大会

第69回町村議会議長全国大会が11月13日に東京のNHKホールで行われました。

全国の町村議会の総意を結集し、町村議会議員が一貫して築き上げてきた地方自治の精神と原則に立ち、住民自治に基づく個性と活力に満ちた町村の実現を期するため、一致結束する大会が開催され、

一、東日本大震災及び令和6年能登半島地震等からの復旧・

復興、原子力発電所事故への対応及び防災・減災対策の確立を求めること

一、地方創生を切れ目なく強力に推進するよう求めること

一、町村の安定的な財政運営に必要な地方交付税等の一般財源総額の増額確保・充実等を求めること
以上3項目についての特別決議と、

町村が地域の実情に沿ったきめ細やかな行政サービスを行えるよう、国と地方が確固たる信頼関係の下、安定的かつ効果的な施策を展開していくため、

一、議会への多様な人材参画及び議会の機能強化

一、町村財政の強化

一、水産業・漁村振興対策の強化

など、28項目の要請が決議されました。

最後に、持続可能な地域社会を確立するためには、地方交付税等の一般財源総額の確保・充実により、人口減少・少子化対策及びこども・子育て政策、デジタル社会・脱炭素社会の推進など、真の地方創生の実現に向けた取り組みを強力に進めていく必要がある。

また、こうした取り組みを町村の実情に沿って展開していくためには、町村議会の活性化や住民の議会に関する関心・理解を深めること等を通じた、議会への多様な人材参画及び議会の機能強化が不可欠であり、一致結束して果敢に行動していくことを誓うという宣言文が読み上げられ、閉会となりました。



議会の主な活動

10月
～
12月

12月				
23	12	9 ～ 10	5	5
▽	▽	▽	▽	▽
広報編集特別委員会	議案審議	一般質問	議会全員協議会	12月議会招集

11月							
28	25	20	18	17	14	12	11
▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽
議会運営委員会	佐賀県後期高齢者医療広域連合議会11月定例会	議会全員協議会	3道路期成会要望活動	全国過疎地域連盟第60回定期総会	経済建設常任委員会所管事務調査	町村議会議長全国大会	市町行政講演会
						6 ～ 8	5
						▽	▽
						総務常任委員会行政視察	町議会広報研修会
							3道路期成会合同要望

10月						
30	29	28	17	15	15	9
▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽
森林・林業・林産業活性化九州大会	佐賀県西部広域環境組合議会定例会	佐賀県町村議会議長会議	3道路期成会合同要望	全国土地改良大会佐賀大会	議会全員協議会	広報編集特別委員会
						8 ～ 10
						▽
						佐賀県町村議会議長会行政視察

次回の議会のお知らせ(予定) 是非、いつでも傍聴においで下さい。

開会日 令和8年3月5日(木)

一般質問 10日・11日

議案審議 13日・16日・17日

令和7年12月議会の傍聴者数(延べ人数)



24人

前回に比べて
-2人



令和7年(10月～12月分)
議長交際費の支出状況

区分	件数	支出額(円)
祝儀	-	-
会費	-	-
慶弔	1	10,000
贈呈	-	-
謝礼	1	8,000
年末警戒 慰問金	26	130,000
合計	28	148,000

議会クイズ!!

お買物券が当たる!

Q

議会の役割として、議会だよりで紹介しているのは次のうちどれでしょう?

A

- ① 町のイベントや行事を企画・運営すること
- ② 町の進む方向を話し合い決定すること
(予算や条例を審議・議決すること)
- ③ 行政の仕事をすべて実行・管理すること

解った方は、[ハガキ](#)または[Webフォーム](#)より応募下さい。

ハガキ

ハガキに答えを明記し、住所・氏名・電話番号・議会への意見または要望を必ずご記入の上、下記に応募下さい。

〒849-1698 太良町大字多良1-6
太良町議会事務局「議会クイズ係」宛

Web
フォーム



ショートURL

<https://logoform.jp/f/a9WbB>



※締め切り/3月1日(日)当日消印有効 ※対象は太良町民に限ります。
※当選者の発表はお買物券の発送(抽選)をもって代えさせていただきます。

みなさん議会に対する意見などをどんどんお寄せ下さい。

編集委員会

委員長	山口 一生
副委員長	待永 るい子
委員	峰 正雄
森田 政則	
大鋸 美里	

新年あけましておめでとうございます。
今年の干支は午。天高のびのびと希望あふれる年であってほしいと願っています。さて太良町議会もあと一年半ほどで改選時期を迎えます。委員会活動等も最後のまとめへ向けて動き出す時期になりました。
議会とはいったい何なのか、議員の存在価値とは何なのか。私達議員は常に自分自身に問いかけながら町民の代表として公正、公平の立場で是非々を求められる。今年も議員という仕事に精進し、学び抜き、働き抜く一年でありたい。

編集室より